

ピックアップシステム・取付ガイド

はじめに

このピックアップはプロによる取り付けをお勧めします。この説明書をよくお読みください。プロでない方が自分で取り付ける場合、取付けに関するアドバイスやサポートは行っておりませんのでご了承下さい。このピックアップが動作しないギターもありますのでご注意ください。例えば、物理的スペースの不足、以前のピックアップ取り付けによるブリッジプレートの改造、一部のビンテージギターのブリッジプレートの変形などは、取付けが成功しない可能性があります。

取付を成功させるための条件:

- 各ピックアップの接着面全体がブリッジプレートに接触している必要があります。これが適切なパフォーマンスの成否を左右する必須な事柄です。ピックアップを取り付ける表面にでこぼこや、穴、その他の障害物がないことが重要です。

- 以前に接着されたピックアップを取り外す場合、ブリッジプレートが損傷したり平面度が変わったりする可能性があり、ピックアップが十分に接触することが難しくなります。この問題が発生しているギターにHiFiを取り付ける場合は、取り付ける前に接着剤や変形による損傷を修復する必要があるため、取付け完了までかなりの時間がかかるかもしれません。

- 取付には付属の両面テープのみを使用してください。箱の中には予備のテープが入っています。

- 絶対にピックアップを接着剤で固定しないでください。これによりピックアップとブリアンプとの互換性がなくなり、保証の対象外になります。

- まずブリッジプレートを調べます。ブリッジプレート上のブリッジピン/弦のボールエンドの前に、奥行きが最低限19ミリの汚れない平らなスペースが必要です。

- 一部のギターには、狭いXプレッシングパターンが付いています(ヴィンテージギターによくあります)。このような場合、このピックアップを適切に取り付けるための十分なスペースがありません。(図1参照)

- ブリッジプレートによっては、ブリッジピンの前にピックアップ全体を収納するのに十分なスペースがありません。各ピックアップの接着面全体をブリッジプレートに接着する必要があることに注意してください。このタイプのギターにはHiFiは取り付けられません。

設置の手順

特別な取付けツールが箱に同梱されています。設置を開始する前に組み立ててください。ピックアップをブリッジプレートの理想的な位置に完全に取付けるためには、このツールの使用が非常に重要です。

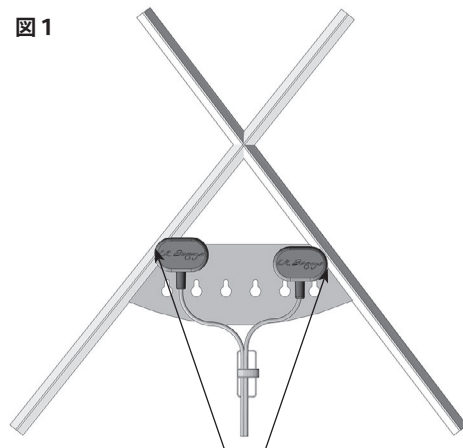
- ブリッジプレートから、すべての障害物(破片、接着剤、接着剤の残留物、ワックスなど)を取り除きます。さらに消毒用アルコールを少量含ませた布またはペーパータオルを使用して表面を拭き、乾燥させます。

- 取り付けツールをブリッジ(ギターの外側)の上に置き、ポストの短い端が外側のブリッジのピン穴に収まるように調整します。治具をピン穴にセットします。これにより、ピックアップを目的の場所に配置するための視覚的な参照が得られます。(図2参照)

- 小さな両面テープ(付属)を各ピックアップの上部、「LR Baggs」ロゴの真上に貼ります。(図3aおよび3bを参照)

- 両面テープから裏紙を剥がし、図4に示すように取り付けツールにピックアップを配置します。ピックアップをサドルの中心に配置し、1つは低いE弦とA弦の間に、もう1つはB弦と高いE弦の間に配置します。弦のボールエンドを避けるために十分なスペースを確保し、配線部分がブリッジピンに接触しないようにピックアップを配置します。(図4参照)

図1



この図の場合ピックアップを取り付けるための十分なスペースがありません。センサーをわずかに移動して調節できる場合もありますが、弦のエネルギーと音量が失われる可能性があります。

図2

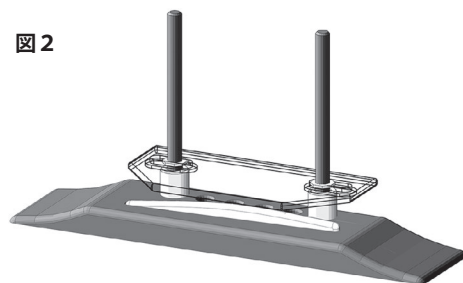


図3a



図3b

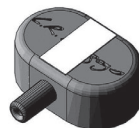
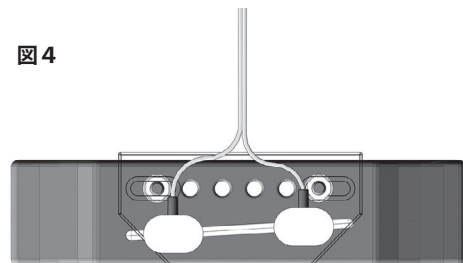


図4



5. 各ピックアップの接触面から裏面の保護シールを剥がします。

6. ピックアップの付いたツールをサウンドホールを通してギターの中に入れます。2本のロッドをブリッジの両端のピン穴に差し込み、ブリッジの上部に突き出るまで押し込みます。ギターの外側からロッドの1つをつかみませんが、まだ引き上げないでください。片方のロッドを持ったまま、ギターの内側にある取付ツールから手を放し、ギターの外側にあるもう一方のロッドを掴みます。

7. ピックアップがブリッジプレートに接触するまで、ロッドを真つすぐに引き上げます(図5aおよび5bを参照)。ピックアップがブリッジプレートに接触し接着された感触があったら、ギターの内部に手を入れ、各ピックアップをブリッジプレートに押し付けて確実に固定します。

8. ツールをピックアップから1つずつ取り外し、ギターからツールを取り外します。各ロッドを片方ずつ押し下げると、両面テープがピックアップから外れやすくなります。両面テープの破片がピックアップに残っている場合は、取り除いてください。

9. それぞれのピックアップを約10～15秒間しっかりと押して固定し、同時にもう一方の手でギターの外側から同じ圧力を加えます。

10. 鏡とライトを使用して配置を確認し、ピックアップがブリッジピンや弦のボールエンドに接触していないことを確認します。どちらかに接触している様であれば、剥がして再度貼り付ける必要があります。(図6参照)

11. ジャック/プリアンプをテールブロックに取り付けます。ストラップジャック取付ガイドを参照にして取り付けて下さい。

12. 付属のクリップで、緩んだピックアップの配線を固定します。ギターのサイズと緩んだ配線の量に応じて、1つまたは2つのクリップを使用します。信号に不要なノイズを発生させる共鳴振動から保護するには、配線をクリップ内でしっかりと保持することが重要です。そのため、クリップ内で配線を固定する方法については、図7aと図7bに示す方法に従ってください。

13. コントロール部をサウンドホールの上部に取り付け、バッテリーバッグをネックブロックに固定します。最後に、バッテリーとコントロール部の配線を、2つのクリップを使用して、ギターの側面に沿って固定します。

14. バッテリーを入れたら完成です。アンプ等に接続して音を鳴らします。

その他

パッシブAUXチャンネル

このHiFiプリアンプは、ステレオサウンド用の2番目のパッシブピックアップを追加する事ができます。追加するには、マグネティックピックアップが最適です。高インピーダンスタイプのピックアップは出力が低いため、お勧めしません。

2番目のピックアップのはんだ付け

パッシブAUX入力用ピックアップからのホット線をプラスに、グランド線をマイナスにはんだ付けします。下の図を参照してください。

アンプとの接続には、信号をステレオケーブルでステレオ入力するか、ステレオ「Y」ケーブルを使用して2つの別々のモノラル入力に接続する必要があります。2番目のピックアップの信号はステレオプラグの「リング」接点にあります。

ミニマイクの追加

2番目のピックアップを接続するのと同じ方法でミニマイクを追加することができます。ただし、これはパッシブチャンネルであるため、マイクにファンタム電源を供給する必要があることに注意してください。マイクはステレオプラグの「リング」接点に接続されます。

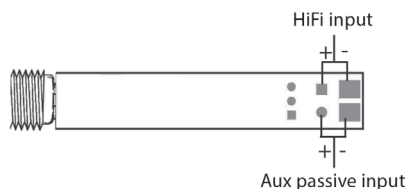


図 5a ピックアップがブリッジプレートに接触するまで、各ロッドを均等に上方に引っ張ります。

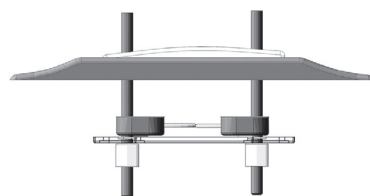
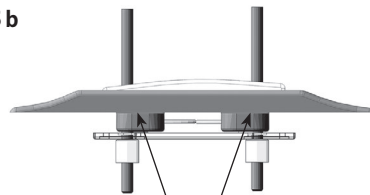


図 5b



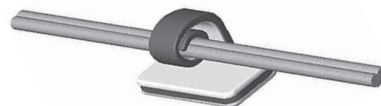
両方のピックアップをブリッジプレートにしっかりと接触させます。

図 6



正しく配置した状態

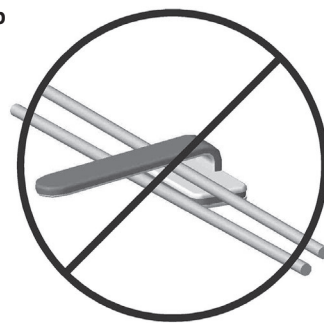
図 7a



正しい固定

この方法により、配線が楽器の表面から離れ、配線をしっかりと保持して不要な振動を防ぎます。

図 7b



正しくない固定

この方法は一般的ですが、効果的ではありません。ワイヤーが振動し、信号に不要なノイズが発生する可能性があります。